学校だより　９月号

令和８年(2026 年) ９月８日
門真市立門真小学校
植原　宏仁

【教育目標】　『未来を切り拓く生きる力の育成』
【めざす子ども像】　○自らねばり強く学ぶ子　○思いやりのある子　○自尊感情の高い子
○心身ともにたくましく健やかな子

暑い日が続きます。暑さ対策、お願いします。

2学期が始まって、3週目に入り 10日経ちました。教室を見て回っていると夏休み生活から学校生活中心の生活に慣れたかなと感じています。ただ暑さは依然として続いており、熱中症指数が高く、20分休みに運動場や中庭で遊べない日もありました。

暑さ対策として、学校では、引き続き、気温や熱中症指数の定期的な把握、教室の温度管理、こまめな水分補給、児童の体調把握等を行ってまいります。お家でも、睡眠時間の確保、朝食・夕食における栄養確保等、よろしくお願い致します。

全ての児童が「学校が楽しい」「授業が分かる」学校をめざして①

～教育課程柔軟化サキドリ事業の取組（教職員研修編）～

2学期が始まりました。「学校行くの嫌やな」と感じている人もいると思います。そんな時にも、「門小、授業は面白いからいいか」となってほしいと願い、授業改善に取り組んでいます。今年度は、昨年度に引き続き、情報活用能力の育成及び探究学習の充実に取り組んでいるのはお知らせの通りです。1学期末時点の児童対象アンケートでは、「学校が楽しい（1学期末肯定意見88.6%）」「授業が分かる（1学期末88.3%）」でした。

8 月 31 日の 6時間目は、教職員研修（6回目）のため児童は 5時間授業で下校しました。この教職員研修が、学校便り年度初め特別号でお伝えしたサキドリ研究校の取組のひとつです。サキドリ研究校としての教職員研修は年10回を計画しています。



「授業が楽しくないと学校は楽しくならない」と考えています。そして、「授業が楽しい」とはどういうことかというと、「一人ひとりが自分の成長を実感できる授業」、それが「楽しい授業」だと考えています。そして、「授業で学んだことが、学校行事や学校生活、地域・家庭での生活等に生かすことができる」

この実感を伴うことで、さらに学ぶことが楽しくなり、主体的に学びに向かうことにつながります。この好循環をつくりだしたいと考えています。

少し前までは、「答えのあることを言われた通りにやる」「決まった範囲を先々に進める」といった【自主性】が重視されてきました。学校でもそういう力を育んでいました。しかし今は、「本当にこのままでいいのかな？」と現状に疑問をもち解決するために動ける【主体性】も必要です。**【主体性】とは、正解のない時代のなかで、「自分で不思議や課題を見つけ、どうすればよいか考え、学び続ける力」**のことです。

「主体性」の育み方について、経験豊富な教員はほとんどいません。まして、ICTも活用して、クラス全員、一人ひとりが成長を感じることのできる授業となると研鑽が必要です。そのためこのサキドリ事業を活用し教職員研修を実施しています。

今年度は、桃山学院大学の木村明憲氏に理論を授けていただき一緒に授業も考えていただいています。木村先生は「私が答えを持っているわけではありません。一人ひとりの児童が成長できる授業を先生方と一緒に考えていきたい。」とおっしゃっています。研修で学んだ教員一人ひとりが学んだことを生かし、日々の授業で「児童にどう支援することで主体性が育まれるのか」試行錯誤を繰り返しています。

～第2回学校運営協議会を開催～



8 月 31 日の教職員研修は、学校運営委員の方にご参加いただき、第2回学校運営協議会としての会でもありました。

児童が主体的に学びに向かうための手立てのひとつとして、授業構成を「課題設定⇒情報収集⇒整理分析⇒まとめ表現⇒振り返り」のサイクルで考えています。研修では、「整理分析」の仕方について、実際に思考ツール（今回は、「比較する」「分類する」「広げてみる」「理由づける」「構造化する」「具体化する」）を体験し、授業での活用を考えました。学校運営委員の皆様にもご意見をいただきました。



大阪府情報活用能力ステップシートより

９・10月の行事予定

9月	8	火	3 年読み聞かせ
	9	水	クラブ活動
	10	木	4 年読み聞かせ 2 年町探検
	14	月	地区班長会、児童集会
	15	火	6 年読み聞かせ 全校 5 時間授業
	16	水	地区児童会(13:45 下校開始)
	17	木	5 年読み聞かせ
	24	木	1 年読み聞かせ 5 時間授業（学校公開前日準備）
	25	金	学校公開日（他校教職員等対象） 授業を公開する学級以外 13:15 下校 授業を公開する学級　14:50 下校
	28	月	不審者対応訓練 5 年出前授業
	29	火	2 年読み聞かせ 4 年出前授業 第 3 回学校運営協議会
	30	水	クラブ活動
10月	1	木	3 年読み聞かせ
	6	金	4 年読み聞かせ
	7	水	委員会活動
	8	木	5 年読み聞かせ
	9	金	1 年校外学習 5 年出前授業
	13	火	6 年読み聞かせ
	15	木	1 年読み聞かせ
	19	月	児童集会
	23	金	運動会前日準備 (1~4 年 4 時間授業 13:15 下校)
	24	土	運動会
	26	月	代休
	27	火	3 年校外学習
	28	水	運動会予備日
	29	木	5 年 6 年出前授業 5 時間授業（教職員研修のため）
	30	金	4 年校外学習

☆校庭開放
9 月…12日・19日・26日の午前
10 月…３日午前午後・31日の午前

児童会・生徒会会議　初開催！？



8 月 26 日、門小・速見小・第三中の児童会生徒会の代表が集まり、第三中学校区共通の学校教育目標づくりの話し合いを行いました。本校からは 6人の児童が参加し、代表として積極的に発言していました。詳細は後日ご紹介します。

門真市立門真小学校　TEL 06-6909-2000

全ての児童が「学校が楽しい」「授業が分かる」学校をめざして②

～教育課程柔軟化サキドリ事業の取組（授業編）～

本校の教育課程柔軟化サキドリ事業の内容については、4月の学校だよりで左記のように説明させていただき、その通り取組みを進めています。表面では、教職員研修についてご紹介しましたので、この裏面では、20時間分上乗せをしている総合的な学習の時間（3年生以上で学習する教科）の取組みについて、簡単に説明します。

	3年	4年	5年	6年
テーマ	「門真市を知る」	「門真市のために考える」	「わたしたちの暮らしをささえる産業」	「将来の自分について考える」
課題設定	門真市のみ力を伝えよう	門真市をもっと盛り上げよう	わたしが社長！ わたしの会社をさらに大きくしよう	自分の未来を想像しよう
情報収集	副読本、お家の人に聞く、門真市のパンフレット、インタビュー	・門真市の困り感や課題について情報を集める。 ・インタビュー、実際に行ってみる、本、インターネット	自動車工場の社会見学を通して、そこで働く人の工夫や努力を知り、日本の工業生産の取り組みや課題について調べる。課題解決に向けた取り組みについての情報を集める。	インタビュー・現地調べ・インターネット・本
整理・分析	門真の自分が伝えたいみ力を考える。	困り感を解決するためにできることを考える。	日本の工業生産を盛り上げる方法について考える。	将来自分がしたいことや作りたい社会について考える。
まとめ・表現	・ポスター、ポップ	お店とコラボする、ＳＮＳで発信する、ポスター作りなど。	CM作り、ポスター作り、お仕事図鑑などを用いて発信する。	調べたことや学んだことを自分なりの表現の仕方で表現する。
関連教科	社会、国語、図工	社会、国語	社会・国語・図工	社会・国語・体育・算数

今年度のテーマ（左図）は、

3年生：門真を知る。

4年生：門真市のために考える。

5年生：わたしたちの暮らしをささえる産業

6年生：将来の自分について考える。

と、設定しました。

学習指導要領で求められている育むべき力は、３つ（①探究的な学習の良さを理解する。②実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・表現することができるようにする。③積極的に社会に参画しようとする態度を養う。）です。

総合的な学習の時間（以後、総合学習）で求められている育むべき力は、本校の学校教育目標「未来を切り拓く生きる力の育成」に直結する力と考えており、重要視しています。

ただ、何か新たなことをしているのではありません。②と学びスキル（表面参照）で育む力は同じです。つまり、国語や算数、社会、体育、図工といった教科で育んだ力を、総合学習において実社会や実生活につなげる（教育用語で「教科横断的」という）ことで、教科での学びは社会や生活につながっているのだと実感でき、さらに教科学習に主体的に取り組む意欲が向上するといったねらいもあります。

総合学習で大事にしているのは、児童自身が左下の図にあるサイクルを意識して学びを進めていくことです。そのための手立てとして、校内に右下のような掲示物が誕生しました。その他にも、児童の意欲がわき主体的に取り組みを進めることができるように、教員は研修で話しあい、議論し、そこでの学びを生かし、様々な工夫を行っています。お子さまに総合学習の授業でどのようなことやっているのか、ぜひ聞いてみてください。

※学校だより 4月号より抜粋

【本校における取り組み内容】

本校では、各教科の内容を精査し、指導方法の工夫や教科横断的な視点等での単元の再構成を行うことで、学習内容を確実に履修しながら、年間授業総時数の中から 30 時間を捻出します（3～6 年生で実施）。その 30 時間のうち、20 時間は総合的な学習の時間（探究学習）の充実に充てます。「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった探究的な学びをさらに深めることができる必要な時数を確保するためです。残りの 10 時間は教職員の研修時間として活用し、探究学習の指導力の向上や学びを深めるための教材分析の時間などに充て、児童の学びに還元します。

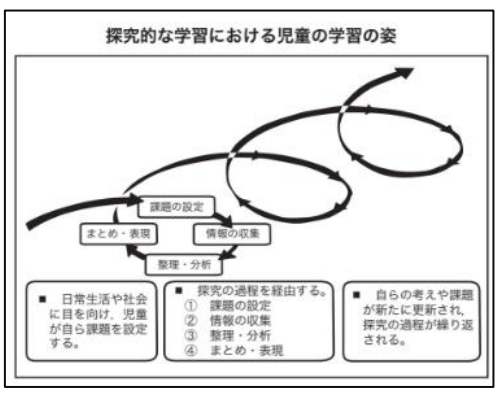
≪時数の再配分≫

各教科の年間授業時数

↓30 時間を再配分

探究学習（20 時間）
- 総合的な学習の時間を拡充
- 児童が主体的に課題を設定・解決

教員研修（10 時間）
- 探究学習の質向上のための研修
- 授業改善・指導力向上



校内掲示物

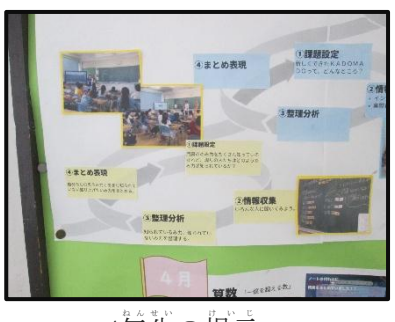


※四角の枠の中の拡大が下の画像です（上記は、5年生の掲示板の全体です）

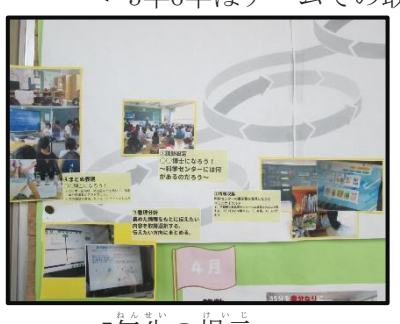
5年6年はチームでの取り組みのため、同じ掲示内容です



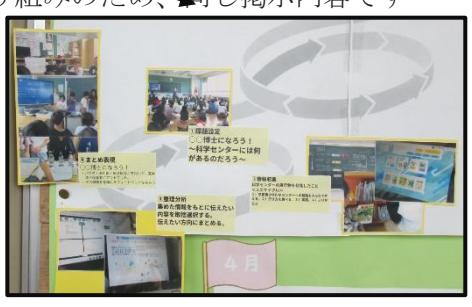
3年生の掲示



4年生の掲示



5年生の掲示



6年生の掲示

門真市立門真小学校 TEL 06-6909-2000